

研究課題名	99mTc-HMDP 注射液を用いた骨シンチ解析ソフトウェア「VSBONE BSI」の性能評価
研究の意義・目的	2019年8月に上市された99mTc-HMDP 注射液を用いた骨シンチグラフィ画像（骨シンチ）の解析ソフトウェア VSBONE BSI の新たなバージョンの性能評価を行う。 VSBONE BSI のより高い診断精度の探求と、女性患者の乳癌の骨転移の検出など多くの癌患者の骨転移に対して性能が向上した VSBONE BSI のバージョンアップは、臨床医学的にも有用であるだけでなく、今後の医学研究にも寄与すると考えられる。
研究を行う期間	「研究機関の長の研究実施許可日」～ 2025年3月
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2020年4月～2022年5月に大阪公立大学医学部附属病院で、転移性骨腫瘍の診断および治療効果判定のため骨シンチグラフィ検査を施行された方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報等：【病歴、診断名、年齢、性別、既往歴、骨シンチグラフィ画像データ】
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪公立大学医学部附属病院核医学科のみで行います。 他の機関に資料・情報提供いたしません、 新たなバージョンの VSBONE BSI の評価の結果は、 日本メジフィジックス株式会社と共有します。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪公立大学医学部附属病院核医学科のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪公立大学大学院医学研究科 核医学 研究責任者 東山滋明
本研究の利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究は、日本メジフィジックス株式会社より研究資金の提供を受け実施しています。 本研究は、日本メジフィジックス株式会社より骨シンチ解析ソフトウェア「VSBONE BSI」の提供を受けています。 本研究の共同研究者である河邊讓治は、日本メジフィジックス株式会社からの講演料・コンサルティング料の受領があります。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	例) 大阪公立大学大学院医学研究科 核医学 (担当者氏名) 東山滋明 電話番号：(06) 6645-3885 メールアドレス：higashiya@omu.ac.jp